

# つれづれなるまゝに 第14号

令和元年12月23日（月）発行



校長 深谷 浩一

♡2019 中央高校十大ニュース発表！♡

## 多彩な実績，令和元年締め括る！

今年もはや残すところ，1週間あまりとなりました。5月に元号が「令和」となり，その元年が今終わろうとしています。皆さんにとって，この新しい年はどんな1年だったでしょうか。

ここで中央高校の1年を振り返ってみたいと思います。「2019 中央高校十大ニュース」として，私が選んだ本校の十大ニュースを発表します。なお，一応順位が付いていますが，実績は甲乙つけがたく，1つの目安と考えてください。

### 第1位 「チーム中央」で臨んだ野球応援



今年の野球応援は，7月13日（土），笠間市民球場で行われた2回戦の東海高校戦で始まりました。応援団長で唯一の男子だった3年1組の福士 直也（ふくし なおや）君が応援団をまとめ，3年3組の藤塚 柚衣（ふじつか ゆい）さんが応援チアチームをよくまとめ，明るくスマイルで取り組んでくれました。

試合の結果は本校野球部が7回コールド勝ちして，好発進しましたが，続く3回戦では，前年度優勝の土浦日大との対戦に0対4で敗退してしまいました。負けはしたものの，3年2組の佐藤 匠（さとう たくみ）君と2年野口 航（のぐち わたる）君の投手陣は土浦日大の強力打線，特に3番，4番，5番のクリーンアップには1本のヒットも許さない好投を見せ，5回まで零点で抑えたのです。

新聞には，「土浦日大快勝」などという見出しが躍っていましたが，土浦日大にしてみれば，クリーンアップがまったく打てず，3番にバントを命じた小菅監督にとっては，まさに「不快勝」以外の何ものでもなかったのではないかと想像しています。応援は「チーム中央」で取り組んだ素晴らしいものでしたが，選手諸君もしぶとい「中央野球」を見せてくれたことに感謝しています。ベスト4に勝ち上がったときの木口監督もきっと喜んでくれたでしょう。



力投する佐藤匠君

## 第2位 新体操部，茨城国体で躍動！

9月7日（土），8日（日）の両日，日立市池の川さくらアリーナで開催された「いきいき茨城ゆめ国体」に新体操の県代表として本校から出場した新体操部の3名（石津愛莉（いしつ あいり）さん（2年2組），高野真衣（たかの まい）さん（2年2組），西野玲名（にしの れな）さん（2年5組））は個人団体総合で第3位という快挙を成し遂げました。

また，新体操新人大会の個人総合では石津さんが第1位，西野さんが第2位，樋田明衣（といた めい）さん（1年1組）が第5位に入賞しました。

さらに，種目別のクラブでは西野さんが，種目別のリボンでは，石津さんが第1位となりました。

こうした活躍の結果，鈴木奈知（すずき なち）さん（3年2組）をはじめとする本校の新体操部員全員が今年度の「新体操競技茨城県年間優秀選手賞」を受賞することができました。

大沼先生の後を引き継いで，指導にあたった鈴木先生は，「茨城県選抜として強化指定を頂き，（選手たちは）重圧に負けじと日々の練習に取り組んでくれました。今までにないプレッシャーの中，堂々と演技をしてくれました。その選手の努力はもちろんですが，応援してくれた友人や家族がいての（国体）第3位だと思っています。」と話していました。



令和元年9月10日付け茨城新聞の記事

## 第3位 女子バレー部，県南地区優勝の快挙！



今年は，まさに「女子バレーの年」だったと言えるのではないのでしょうか。キャプテン植木みらい（2年4組）さんを中心として団結して戦った結果，県南地区選手権大会で優勝。そして第1シードとして迎えた新人大会県南地区予選でもあれよあれよという間に決勝進出。

監督の吉田先生は，「暑い夏から努力を続けてきた成果です。植木，畑岡利安，郡司 歩，古谷田夢唯，富田美来，富田妃花葉，根本結衣音，横塚未来，平 真風の9人全員の力で勝ち

ました。数多くの練習試合で実戦経験を積み，培ってきた団結力と突き抜けた元気の良さで，大会では持っている力以上の爆発的な力を発揮しました。特に，富田未来のスパイクの破壊力，植木の神がかったレシーブが光っていました。」と話していました。

新人戦の藤代紫水との決勝では，第1ゲームを先取し，第2ゲームの中盤までリードし何度かマッチポイントを迎えたものの，このまま勝ちきることはできませんでした。接戦の末，このゲームを落とすと，流れは藤代紫水ペースに。第3ゲームもその流れは変えられず，そのまま寄り切られてしまったのです。



途中までリードしていただけに残念な思いはありますが、それも本校女子バレー部に与えられた試練と捉え、さらに練習を重ねてほしいと切に願っています。

## 第4位 男子バスケ，土浦三にリベンジ果たす！

今年も男子バスケットボール部は大活躍でした。3年生は5人しかいませんでしたが、キャプテンを中心によくまとまったチームで、地区総体優勝、県総体ベスト16の成績を収めました。監督の佐藤先生は、「キャプテンの廣瀬 優君（3年2組）を中心にまとまりが強く新人戦，関東の地区予選で敗れていた土三（土浦三高）に総体で見事にリベンジして優勝した。県大会ではあと一步でベスト8であった。」と話していました。また，新チームについては，「長身の柘植正寛君（2年5組）を中心として，小柄な選手達がどれだけ体を張って頑張れるかで，春の結果が変わってくるのではないだろうか。」ということでした。

## 第4位 女子バスケ部，接戦を勝ち切って優勝！

女子バスケ部は，12月7，8日に開催された関東高校新人県南A地区予選において，2回戦で土浦一高を44－36で，続く準決勝で常総学院を73－34で破りました。決勝戦は強豪土浦二高を44－41の僅差で下し，見事優勝を飾りました。監督の根反先生は土浦二高戦について，「粘り強いディフェンスでロースコアに持ち込み，勝つことができた。一人ひとりが役割を果たし，全員でつかみ取った優勝です。」と語り，「優秀選手は？」の問いには，「部員15名全員です！」と答えてくれました。

バスケット部は男女に甲乙付け難いため，校長裁量で同一順位としました。

## 第6位 JRC，小美玉市主催事業で本領発揮！



今年もJRC同好会は，茨城空港，空のえき そ・ら・ら，市内夏祭り（ふるさとふれあいまつり）など，地域に飛び出して精力的に活動してくれました。その中でも，3年1組の飯田七海（いいだ なな）さんは部長としてリーダーシップを発揮しよく部員をまとめてくれました。ふるさとふれあいまつりでは，猛暑の中参加して本当によく頑張ってくれました。

## 第7位 運動部活動の躍進！

### ○荒木さん，あと1秒で関東へ！～水泳部～

水泳部は6月の関東高校水泳競技大会県予選で，3年1組の荒木 愛梨（あらき あいり）さんが女子100m自由形4位に，200m自由形で5位に入賞しました。顧問の大崎先生は，「（荒木さんは）女子100m自由形で関東大会まであと1秒のところまでタイムを伸ばしていた。毎日スイミングに休むことなく通った結果だと思います。」



大学でも是非頑張ってもらいたい。」とエールを送っています。

荒木さんは今月行われた第5地区合同水泳競技大会の女子50m自由形で第2位に、女子100mバタフライで第1位となりました。また、1年生の石井菜都実（いしい なつみ）さんは女子200m自由形で第3位に、女子100m平泳ぎで第3位に入賞しました。

## ○新人戦で県ベスト8！～女子テニス部～

女子テニス部は、関東予選、県新人戦において女子団体にベスト8を果たしました。団体戦メンバーは、2年生が、代島 明莉（だいじま あかり）さん、岡野歩美（おかの あゆみ）さん、沼田香澄（ぬまた かすみ）さん、1年生が清水ありすさん、高安結衣（たかやす ゆい）さん、武田真由（まゆ）さん、永木花音（ながきかのん）さんでした。

勝因について、監督の赤井先生は、「原動力は最後まで諦めない心を日々の練習で実践した結果だと思います。また、チームを一番支えてくれたのは男子キャプテン武類光貴（2年2組）君、マネージャーの青野ひより（2年1組）さん、細井詩穂（1年1組）さんの尽力のお蔭だということは男女部員全員が認めるところで皆感謝しています。」と話していました。

## ○佐川さん、筑波大学の公開講座に参加～剣道部～

剣道部では、1年3組の佐川夏音（さがわ かのん）さんの頑張りを紹介します。佐川さんは9月から筑波大学の公開講座「剣道（秋季）」に参加して、剣道の指導を受けています。顧問の岡田先生は、「（佐川さんは）筑波大学の先生方や剣道部の学生さんから直接指導と稽古をいただき貴重な経験を積みました。今後、さらなる活躍が期待できる生徒です。」と話しています。

## ○毎日こつこつと練習して～卓球部～

2年5組の服部龍介（はっとり りゅうすけ）君と2年2組の吉田快翔（よしだ かいと）君を中心に、毎日こつこつと練習を積み重ねています。当面の目標は、「県大会出場」だと顧問の石川先生は話していました。

## ○酒井君、砲丸投げで県大会8位入賞！～陸上部～

酒井 洸誠（さかい こうせい）君（2年5組）が県新人陸上大会の砲丸投げで第8位に入賞しました。また、小磯 光希（こいそ みつき）（1年3組）は、1年生ながら100mB決勝7位に入賞し、リレーでも主力として活躍しています。

また、県南地区新人大会では、木村 圭吾（きむら けいご）（2年1組）君が「男子円盤投げ」で第3位に、1年4組の安見 頼斐（あみ らい）（1年4組）君が「男子八種競技」で第3位に入賞することができました。

## ○チームを支えたキャプテン飯島君～サッカー部～

今年のサッカー部は、華々しい戦績こそ残すことはできませんでしたが、キャプテンの飯島啓太（いいじま けいた）君を中心によくまとめたチームでした。監督の倉持先生は飯島君について、「キャプテンとして60名を超える部員をまとめ、練習や試合では常に先頭に立ち、チームの中心として活躍してくれた。」と評しています。

来年は、3年生が引退したあと新チームのキャプテンとして皆藤 勝喜（かいとう しょうき）君がチームを引っ張り、「センタースタックというポジションでチームを支え、勝利のために体を張って頑張っています。」（倉持監督）

## 第8位 文化部活動の活躍！

### ○佐々木さん、2年連続金賞受賞～芸術部～

芸術部は、3年1組の大峰遥（おおみね はるか）さん、佐々木千智（ささき ちさと）さんが部員たちをよくまとめ、作品の製作にも熱心に取り組みました。顧問の長谷川先生によれば、「10月に引退したこの2名は、部の発展に大きな貢献をしてくれました。佐々木さんは『ゆめ未来芸術展』で2年連続金賞を受賞するなど活躍はめざましいものがありました。」ということでした。

### ○校内に和みの空間を～茶華道部～

茶華道部は、学校説明会当日に生け花を展示したりハロウィン向けのフラワーアレンジメントに取り組みました。顧問の飯田先生は「校内に和みの空間が作れるよう、部員みんなで頑張っていました。」を話していました。

### ○和気あいあいと楽しく～英語研究部～

英語研究部では、7月まではエミリー先生と9月からはジョージ先生と英語でゲームをしたり、時にはお菓子を作ったりしながら、楽しく英語を学んでいます。部員以外の生徒も飛び入り参加することもあり、和気あいあいと活動を行っています。

### ○新しい取り組みを～吹奏楽部～



今年吹奏楽部は、新しい取り組みをはじめました。6月の校内コンサートは初の野外ステージでの演奏を行い、県総文祭音楽会には石岡一、石岡二、石岡商の吹奏楽部とともに素晴らしい演奏を披露してくれました。先日のクリスマス・コンサートでは一般生徒から参加者を募り、ダンスも取り入れるなどクリスマスシーズンを盛り上げてくれました。顧問の太田先生は、「少人数ながら一人ひとりが自分らしさを発揮し、協力してアイディアを実現していく姿に頼もしさを感じます。」と話していました。

## ○「実験室でコーラを作れるか？」～科学部～

科学部では現在、「実験室でコーラを作れるか？」というテーマで実験計画を立てています。部長の竹内陽太郎（たけうち ようたろう）君（2年2組）中心に部員全員で取り組んでいます。

## ○校内ミニコンサート盛況～軽音楽同好会～

軽音楽同好会では、部長の米沢 凜（よねざわ りん）さん（2年4組）が2年生と1年生の間の調整役を務めてくれました。

今年は年度当初からミニコンサートに向けて練習を重ね、11月15日の校内ミニコンサートでは、2つのバンドが出場して大勢の生徒の前で演奏を披露してくれました。



## 第9位 各種コンクール・コンテストで表彰！

今年度の水戸税務署主催「税に関する高校生の作文募集」に応募した2年1組の川島綾華（かわしま あやか）さんが水戸税務署長賞を受賞しました。

また、今年度から県で開催している「茨城エコレシピコンテスト」では、3年3組の藤井彩夏（ふじい あやか）さんが「節約冬のぽかぽか鍋」で「茨城県知事賞」を、3年4組の戸塚 美羽（とつか みう）さんが「まぜ麺からの汁麺」で「審査委員長特別賞」を受賞しました。指導にあたった飯田先生は、「二人とも家庭クラブ活動に熱心に取り組み、食品ロス削減について研究する中で今回のコンテスト応募となりました。日頃の活動の成果だと思います。」と話していました。

さらに、「読書感想文全国コンクール茨城県予選」では、1年2組の渡邊理沙（わたなべ りさ）さん、1年3組の稲野辺 叶愛（いな のべ とあ）さん、1年4組の相沢 萌果（あいざわ もか）さんの3名が入選を果たしました。おめでとうございます。

次に紹介するには、茨城大学人文社会科学部が主催する「茨城の魅力を探求し発信する高校生コンテスト2019」に地元小美玉市と協力して動画を作成した3年1組の郡司千尋（ぐんじ ちひろ）さん、山本彩乃（やまもと あやの）さん、佐久理絵美（さく りえみ）さんの3人です。「いいでしょ？小美玉」というタイトルをつけた動画は約3分ですが、ストーリー性があり、なかなかの力作でした。いつか皆さんにも紹介します。

最後に、野球部活動で今年度「水戸地区優秀選手に選ばれた小沼駿斗（おぬま はやと）君（3年5組）を紹介します。小沼君は、水戸地区の中で目覚ましい活躍をしたとして表彰されることになりました。小川南中出身で、夏の県大会では、キャプテンとしてよくチームをまとめ、昨年の覇者土浦日大と接戦の勝負を展開してくれました。

皆さんの受賞を心からお祝いしたいと思います。



## 第10位 感動を与えた「卒業生による講演会」！

最後に、キャリア教育の一環として卒業生を講師として招き、講話を拝聴する企画「卒業生による講演会」を第10位とします。

今回の講演会は、ホテルテラスザガーデン水戸 婚礼営業部支配人の舘友和氏（平成7年3月卒業・6回生）と、石岡市消防本部八郷消防署員の長津光司氏（平成18年3月卒業・17回生）の2名を招き、自分自身の高校時代の思い出や後輩に送るメッセージなどを語っていただきました。どちらも体育コースの出身で野球部でした。長津さんは、本校が初めてベスト4に勝ち上がったときのショートでした。



壇上での講師紹介（舘友和氏（左）と長津光司氏（右））

講演会後の生徒アンケートには、「失敗を恐れずに、いろいろ挑戦したい」「いろいろな人々に感謝の『ありがとう』を忘れずに生きていきたい」「本気で取り組むことが大事だと思った」「今できることをしっかりやっていきたい」など、先輩方の姿に大いに励まされ、心が動かされたことが伝わってくる言葉が並んでいました。

この行事は生徒自身が行ったものではありませんが、かつては本校の生徒として野球に取り組み、今はそれぞれの職場で意欲的に活躍している先輩方が現在の生徒たちに多くの感動を与えてくれたという意味で、令和元年の本校の十大ニュースに加えておきたいと思います。（おわり）